

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7, 3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | | | |
|------------------|---|----|--------------------------------|-------------|--------------|--|--|
| 3 月 7 日 | 代表 1 | 6 | 林 久嗣 (代表) 【一問一答】 | 市長 村椿晃 君 | 1 | 令和6年年度予算について | |
| | | | | | | 令和6年度予算額が192億1300万円と過去2番目となる積極型予算が計上されました。4月から市内13地区においてコミュニティセンター化となり新年度事業にも注視される中、令和6年度予算において6点について質問をします。 | |
| | | | | | | ① まちづくり交付金事業について従来交付金を増額した見解を問う。 | |
| | | | | | | ② 子育て支援に関しては継続的に支援されている。その中で保育料無償化事業において今後も継続あるいは拡充の考えはあるのか、継続となれば財政的に影響はないのか、見解を問う。 | |
| | | | | | 教育長 山瀬敬 君 | | ③ 教育分野においてコミュニティ・スクール推進事業は特筆すべき事業であり、この事業のねらいは何か。学校、保護者、地域住民が、どの様に関わるのか、お答え願います。 |
| | | | | | | | ④ 校内すまいる設置事業について令和5年度よつば小学校において試験的に実施され、令和6年度全校に設置するとのことだが、試験的導入の成果があったのか。不登校児童の実態はどのような状況なのか、全校に設置する根拠をお答え願います。 |
| | | | | | | ⑤ 松倉城跡国指定促進事業については国指定に至るまで今後、どのようなことをクリアすればよいのか、国指定がなされた後、どのような展開を想定しているのか、見解を問う。 | |
| | | | | 市長 村椿晃 君 | | ⑥ 今回の予算は金額的には増額した積極型予算の様に見えるが、突出したものはなく関係分野に広く配慮した予算であり、堅実で安定した予算編成と思える。地域住民、若年層に力点をのいた予算と思えるが、市長の見解を問う。 | |
| | | | | | | | |
| | | | | 市長 村椿晃 君 | 2 | 災害・防災対策について | |
| | | | | | | 1月1日の能登半島地震において魚津市の対応、市民との関わり方等について7点の質問をします。 | |
| | | | | | | ① 防災行政無線は地震発生時に市民への的確な情報発信がなされていたのか。避難所の開設などの連絡が市民に行き届いていたのか、お答え願います。 | |
| | | | | | | ② 防災行政無線に代わる機器の設置についての計画はあるのか、お答え願います。 | |
| | | | | | | ③ 2000人以上の65歳以上高齢者に対して有事の安否確認はどのような手順で確認するのか、たいへん困難に思えますが、見解をお聞きます。 | |
| | | | | | | ④ 避難誘導についてお尋ねします。デジタル弱者への対応や障がいのある方への配慮はどのようにお考えでしょうか、お答え願います。 | |
| | | | | | | ⑤ 地震発生時の町内会長や自主防災組織などの連携について市からの指示が適切になされていたのか。連携については電話連絡に加えてデジタルデバイスを有効に利用すべきと考えるが、見解を問う。 | |
| | | | | | | ⑥ 魚津市緊急情報配信サービスの登録状況はどのようになっていますか。現況でのサービスが効果を発揮しているとお考えでしょうか。当局の現状認識と今後の方針を示してください。 | |
| | ⑦ 犠牲者の多くは高齢者、障がい者であることを考慮して地域福祉と地域防災計画などの連携は重要であり、超高齢化社会と共生社会を見据えた防災に対する考え方をお聞かせください。 | | | | | | |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7、3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | | |
|------------------|----|----|---------------------------------|--------------|---|--|
| 3 月 7 日 | 代表 | 2 | 石崎 一成 (代表) 【一問一答】 | 市長 村椿晃 君 | 1 | 令和6年度当初予算について |
| | | | | | ① | 「地域が主役となったまちづくりの取組に加え、社会の変化への対応や子育て・教育環境の充実による次世代への投資を強化した積極型予算」というタイトルがつけられたが、主眼はどういったところなのかお聞かせください。 |
| | | | | | ② | コミュニティセンター化を期に、どのように地域の若手人材の参画につなげるのかという点が今後の課題になっていくと考えますが見解をお聞かせください。 |
| | | | | | ③ | コミュニティ・スクール推進事業について、学校が主体となりつつ地域とどの様な関わり方を目指すのかをお聞かせください。 |
| | | | | | ④ | 旧大町小学校解体工事の開始時期と解体後の埋蔵文化財発掘調査の概要についてお聞かせください。 |
| | | | | 教育長 山瀬敬 君 | 2 | 能登半島地震を踏まえての防災対策について |
| | | | | | ① | 市内公共施設及び公共インフラ、民間施設と個人住宅等について被害状況をお聞かせください。 |
| | | | | | ② | 市民の避難行動や職員の活動、公共施設における避難所機能や安全性の検証を行った上で地域振興会とも共有し、広く情報提供を進めるべきと考えますが見解をお聞かせください。 |
| | | | | | ③ | 海拔や避難時の誘導に係る表示が電柱などにもっと有って欲しいという声がありますが、増設について見解をお聞かせください。 |
| | | | | | ④ | 魚津断層帯について魚津市はどのような認識をしているのかお聞かせください。 |
| 市長 村椿晃 君 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | 広田 防災危機管理統括監 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7、3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | |
|------------------|---------|----|----------------------------|-------------|---|
| 3 月 7 日 | 代表 3 | 8 | 松倉 勇 (代表) 【一問一答】 | 市長 村椿晃 君 | 1 能登半島地震に於ける当局の対応について |
| | | | | | ① 魚津市の避難所開設の対応はどうだったのか？今後検証して見直すとしているが、どこをどう見直すのかお答え頂きたい。 |
| | | | | | ② どのような状況に於いても即時に状況を判断し、決断出来る職員を育てるべきだと考えますが、今後の対応をお答えください。 |
| | | | | | 2 市長と魚津市インバウンド推進実行委員会の台湾自治体交流、提携候補地訪問について |
| | | | | | ① 苗栗県・新北市板橋区それぞれでのインバウンドに於ける期待される効果について伺います。 |
| | | | | | ② 同じくそれぞれの地域でのアウトバウンドでの考えを伺います。 |
| | | | | | ③ 新年度予算案ではインバウンド推進実行委員会への補助金として670万円計上されているが、内容は示されていません、台湾自治体との交流の予算の中身についてはどのようなことを考えているのか伺います。 |
| | | | | | 3 企業立地推進について |
| | | | | | ① 人口減少対策としての働く場の創出では企業立地推進事業がありますが、企業の誘致や既存の工場の増設等事業者側からの求めに即対応出来る予算が見えてない。令和6年度に予定している取り組みを伺いたい。 |
| | | | | | ② 企業側からの問い合わせや相談に即対応出来るよう事前に確保しておく手だてを講じておくべきだと考えますが、当局では如何お考えか？ |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7、3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | | |
|------------------|---------|----|-------------------------|--|---|--|
| 3 月 7 日 | 個別 1 | 9 | 金川 敏子 (個別) 【一問一答】 | 副市長 四十万隆一 君 | 1 | 森林整備について |
| | | | | | ① | 魚津市の森林整備について、市の計画を伺います。 |
| | | | | | ② | 森林環境譲与税を利用した魚津市の森林整備についての計画を伺います。 |
| | | | | | ③ | カーボンクレジットは、森林の保護や、植林などを行うことで生まれた、CO2などの温室効果ガスの削減効果をクレジットとして発行し、他の企業や、市町村との間で取引する仕組みです。この活用について魚津市の方針を伺います。 |
| | | | | | 2 | 能登半島地震対応の反省点について |
| | | | | | | 1月1日の能登半島地震の避難方法などの対応について伺います。 |
| | | | | | ① | 避難所が開くのが遅く、市民の皆様にご不満があったと聞いているが、今後の対応について伺います。 |
| | | | | | ② | 避難所には毛布や食料のストックも必要と思いますが現状と今後の方針について伺います。 |
| | | | ③ | 津波からの避難のため、道が渋滞しました。各地区で、どこへ避難するか、どのように避難するか毎年の防災訓練などで、前もって基本行動を周知はできませんか。 | | |
| | | | ④ | 災害時の要援護者避難支援について、近所の誰がどなたを助けるか、分からないとの意見もありました。魚津市の対応について伺います。 | | |
| | | | ⑤ | 障がい者の避難先についての想定と周知が不足しているのではないかと。今後市民の皆様や、市職員にどう周知しますか。 | | |
| | | | ⑥ | 防災行政無線は主に津波対策として、設置されているが家の中にいると、聞こえないと市民から指摘を受けるが、その対応について、伺います。 | | |
| | | | ⑦ | 今回の能登半島地震への対応の反省点を踏まえ、今後の避難方法のあり方についてどのように考えるか伺います。 | | |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7, 3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | |
|---|---------|----|---------------------------------|-------------|---|
| 3 月 7 日 | 個別 2 | 10 | 浜田 泰友 (個別) 【一問一答】 | 市長 村椿晃 君 | 1 新年度予算について |
| | | | | | ① 市税収入について 市税収入が減収となっている要因は何か。 |
| | | | | | ② 企業立地や投資促進について 固定資産税が大きく落ち込んでいる。新年度予算において企業立地や投資の促進に向けた事業、予算規模はどうなっているか。 |
| | | | | | 人づくりについて ③ 市内全地区でのコミュニティセンター化やまちづくり会社設立など、社会的課題に取り組む地域や民間の人材を発掘・育成することが何より必要である。新年度予算においてどのような取組みを行うのか。 |
| | | | | | 2 能登半島地震について |
| | | | | | 漁業支援について ① ホタルイカ漁に使う定置網などに大きな被害が出ている。漁業者に対する国県の復旧支援事業では「漁期中」のものが対象であり、支援を受けられていないと聞いている。被害の状況はどうなっているか。また支援に向けてどのように取り組んでいくか。 |
| | | | | | 津波避難について ② 元日の発災で避難のあり方に課題が見られた。沿岸地域において、海拔表示や避難場所を示す看板など、避難に際して正しい知識を周知することについてどのように取り組んでいくか。 |
| | | | | | 3 魚津のまちづくりについて |
| | | | | | 幹線道路網計画について ① 魚津市幹線道路網計画の改訂が10数年ぶりに行われる。幹線道路の整備では事業に合わせて民間活力を活用し沿道の効率的な土地利用が期待され、魚津市のまちづくりに寄与する効果は大きい。長期にわたり事業に着手されていない道路計画の実現に向けてどのように取り組むのか。 |
| | | | | | 地籍調査の進捗について ② 地籍調査により土地に関する情報が整理されることで、土地取引の促進や公共事業の円滑化やコスト削減、また大規模災害時の早期復旧につながるといったメリットがある。魚津市のまちづくりを進めるうえで事業を加速させるべきではないか。 |
| ③ 地籍調査の外部委託について 地籍調査は国土調査法第10条2項の規定に基づき包括的な外部委託が可能となっている。アウトソーシングは検討しているのか。 | | | | | |
| 空き家対策について ④ 空き家対策特措法の改正により「管理不全空き家」の区分が新設され、放置されると「特定空き家」になるおそれがある場合に指定できることとなった。市内にある管理不全空き家の見込み数と今後の取組みを問う。 | | | | | |
| 空き家等活用促進区域制度について ⑤ 空き家対策特措法の改正により「空き家等活用促進区域制度」が新設され、市が定める区域内の空き家を対象に、建築基準法等で定められている接道や用途の規制を緩和できるようになった。中心市街地での空き家の建て替えが期待できるが、見解を問う。 | | | | | |
| あいの風とやま鉄道新駅について ⑥ 新駅整備の効果として、自動車から鉄道への利用転換、利便性向上とともに周辺の再開発が期待される。国は令和5年度より社会資本整備総合交付金に地域公共交通再構築事業を追加し、駅舎の新築・改築など地域公共交通を支援する制度を新しく設けている。あいの風とやま鉄道は2つの新駅整備が完了し、2025年度に第二次経営計画の見直しを行う。魚津市から新駅の提案を行ってはどうか。 | | | | | |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7、3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | |
|------------------|----|----|-----------------------------|-----------------|--|
| 3 月 7 日 | 個別 | 10 | 浜田 泰友 (個別) 【一問一答】 | 市長 村椿晃 君 | <p>市民バスの自動運転化について</p> <p>⑦ 全国的にバス運転手不足が課題となっている。労働規制が強化される、いわゆる2024年問題により運転手不足の更なる加速が想定される。市民バスを持続的に運行するため、運転手確保やデマンド化などに取り組む必要があるが、自動運転導入など抜本的な対策にも着手すべきではないか。</p> |
| | | | | | <p>4 魚津水族館について</p> <p>魚津水族館のあり方検討事業について</p> <p>① 本年111周年を迎える魚津水族館は耐震基準を満たしておらず老朽化が課題となっており、次代の水族館のあり方検討が進められている。昨年、水族館プロデューサーの中村氏より県との合同開発で「魚津富山湾水族館」を建設すべしとの提案を受けた。あり方検討から具体的な企画・構想に着手してはどうか。</p> |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7、3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | |
|------------------|---------|----|-------------------------|-------|--|
| 3 月 7 日 | 個別 3 | 15 | 寺崎 孝洋 (個別) 【一問一答】 | 市長 | 1 能登半島地震について |
| | | | | | ① 地震発生後の対応について、いろんな声(問題・課題)が上がっていますが、どんな声があり、今後どのように対応していくのかを聞く |
| | | | | | ② 今後のために、役所(公助)の検証のみならず、自助・共助のあり方などを検証・対策をする必要があると思うが、見解を聞く |
| | | | | | 2 物価上昇(インフレ)と賃上げについて |
| | | | | | ① 昨今の経済状況は、円安・物価上昇であります。そんな中政府もこの春の賃上げ交渉(春闘)が大事であると言っていますが、賃上げの必要性についての考えを聞く(何円・何%アップなどの位が望ましいと考えるか) |
| | | | | | ② 来年度予算には、委託費など事業を発注されるものがありますが、賃上げや固定費・材料費高騰をどの位考慮されているかを聞く |
| | | | | 村椿晃 君 | 3 シチズンシップについて |
| | | | | | ① 今、全国各地で自治体や学校、NPOが主体となってシチズンシップ教育が行われております。これからの時代、地域の活性化や地域の安心安全向上のためにはシチズンシップの醸成(シチズンシップ教育)が必要ではないかと考えますが、市長の見解を聞く |
| | | | | | ② 提案理由で「地域が主役となって進めるまちづくりの施策の強化」として「まちづくり交付金事業」で地域振興会の支援強化をすると述べられましたが、具体的な例などがあれば説明下さい |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7, 3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | |
|------------------|---------|----|-----------------------------|----------------------------------|---|
| 3 月 8 日 | 個別 4 | 11 | 中瀬 淑美 (個別) 【一問一答】 | 市長 村椿晃 君 | 1 能登半島地震を教訓とした防災減災対策について |
| | | | | | ① 県では、市町村と連携して、木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する支援制度が有り、市では、魚津市木造住宅耐震改修支援事業が有る。市民に広く周知する必要があると考えるが市の見解を問う。 |
| | | | | | ② 家屋倒壊での被害者が9割を占め、その内、高齢者世帯が多かったとの新聞報道があった。高齢世帯における避難についての市の対応について問う。 |
| | | | | | ③ 県は、耐震改修、部分耐震改修に要する工事費 1戸あたりの補助上限額を100万円に拡充したが、本市の補助制度は現状維持なのかを問う。 |
| | | | | | ④ 時限的にでも、平成12年5月以前に着手した建築物の耐震化を支援すべきと考えるがどうか。 |
| | | | | | ⑤ 医療的ケア児、高齢者を抱える家庭から、「福祉避難所の存在は知っているが、発災時に具体的に利用可能な避難所は知らない」との声がある。在宅で医療的ケアをしている方の個別避難計画作成状況について問う。 |
| | | | | | ⑥ 発災時、道下地区はあいの風鉄道より海岸近くの方が一斉に、山に向かって車で避難され大渋滞が起こった。新たに、防災公園の指定や地域防災拠点(津波避難施設)の設置等避難場所の拡充や海拔表示等も検討できないか伺う。 |
| | | | | | ⑦ 一人一人が知識を身に付けることで、減災につながる。地域ぐるみでの防災・減災の取組が大切である。民間企業との連携を取り防災・減災する仕組みの今後の計画を問う。 |
| | | | | | ⑧ 他の自治体では、マイ・タイムラインや個別避難計画の作成、防災ヘルプ機能などを搭載した防災アプリを導入して防災・減災の啓発強化をしている。防災アプリを活用する考えを問う。 |
| | | | | | ⑨ 災害ケースマネジメントの取組の認識及び本市の現状について問う。 |
| | | | | ⑩ 災害ケースマネジメント実施への課題と今後の取組について問う。 | |
| | | | | 広田 防災危機管理統括監 | 2 罹災証明書の発行における官民連携の取組について |
| | | | | | ① 罹災証明書を発行するための被害認定調査の実施体制の現状及び調査に要する期間を問う。 |
| | | | | | ② 罹災証明書の発行における官民連携の取組について見解を問う。 |
| | | | | 武田 民生部長 (田中 防災危機管理室長) | 3 合理的配慮のある防災情報の提供について |
| | | | | | ① ハザードマップは地図上に色で災害リスクを示すため視覚障害者の利用は困難である。視覚障害者の避難行動に有効である情報を音声で得られる「耳で聴くハザードマップ」の導入について問う。 |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7, 3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | | | |
|------------------|---------|----|---------------------------------|---|---|-----------|---|
| 3 月 8 日 | 個別 5 | 7 | 岡田 龍朗 (個別) 【一問一答】 | 副市長 四十万隆一 君 | 1 防災対策について | | |
| | | | | | ① 能登半島地震は市民・行政の防災意識等に大きな影響を受けたと思う。市としての教訓・課題について、どのようなことがあげられるか。 | | |
| | | | | | ② 学校体育館は災害時の指定避難所として活用されている。猛暑時の対策として、空調設備整備が必要であると思うが、どのように考えているか。 | | |
| | | | | | ③ 魚津市は民間事業者と災害協定を行っている。災害時に市民にはどのように活かされるのか。 | | |
| | | | | | | | ④ 災害時の対応は様々な困難が発生する。その中で要支援者の対応の状況はどうであったか。またどのような問題、課題があったか。 |
| | | | | | | 赤坂 産業建設部長 | 2 農業について |
| | | | | | | | ① 昨年は猛暑の影響で、稲作の主力品種であるコシヒカリの品質低下等の被害が拡大している。魚津市における稲作面積に占める「コシヒカリ」、「富富富」等の割合はどうか。 |
| | | | | | | | ② 県は暑さ等に強い「富富富」品種の稲作への移行を進めているのか。市はどのように考えているのか。 |
| | | | | | | | ③ ウクライナ戦争を契機に小麦の市場価格が値上がりし、国が小麦の国産化を支援するとしている。国から市への具体的な働きかけがあるのか。 |
| | | | | | | | ④ 魚津市の大麦及び小麦の栽培の実態はどうか。 |
| | | | | | | | ⑤ 稲作農家は化学肥料の大幅な値上げによる影響がある。安価な代替肥料は考えられるか。 |
| | | | | | | | ⑥ 農業者の担い手育成について市の取組はどうか。 |
| | | | | | | | ⑦ 政府は食料安全保障を強化するとし、「農業基本法」の改正を行うとしている。どのように捉えているか。 |
| | | | | | | 武田 民生部長 | 3 介護について |
| | | | | | | | ① 国は介護保険の利用料を1割負担から原則2割とする制度改正をとしている。どのような影響があると考えているか。 |
| | | | | | | | ② 魚津市でも1割負担の方が多数いると聞いている。低所得者支援に対する国・県への働きかけも不可欠であり、低減策の考えはどうか。 |
| | | | ③ 介護施設に入所できない人たちの実態はどうか。 | | | | |
| | | | | ④ 介護をするために仕事を退職する人もいる。どのように捉えているか。 | | | |
| | | | 市長 村椿晃 君 | 4 あいの風とやま鉄道(城端線・氷見線移管)について | | | |
| | | | | ① 県は城端・氷見線再構築検討会で5年後に経営をあいの風とやま鉄道に移管する計画案を示し、今年2月に国の認可となれば計画が行われる。市はどのように考えているのか。見解を聞きたい。 | | | |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7、3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | |
|------------------|---------|----|----------------------------------|-------------|---|
| 3 月 8 日 | 個別 6 | 4 | 水田 万輝子 (個別) 【一問一答】 | 武田 民生部長 | 1 新川こども屋内レクリエーション施設の整備について |
| | | | | | ① 現時点で想定されている施設の規模と機能の概要についてお答えください。 |
| | | | | | ② 地質調査が実施されたと聞いています。その結果をお答えください。 |
| | | | | | ③ 飲食店のテナントを館内に設置する予定はあるのか伺います。 |
| | | | | | ④ 東京都足立区のこども未来創造館のような、こども一時預かりができる機能が利用者の利便性向上につながると考えますが見解を伺います。 |
| | | | | 田中 防災危機管理室長 | 2 地震への対応について |
| | | | | | ① 今回の地震に伴い津波警報が発令されたが、海拔表示を電柱だけでなく、それ以外のものも活用する考えはあるか見解を伺います。 |
| | | | | | ② 今回の地震への対応を踏まえ、今後の地域防災計画等にどのように反映させるのか、市の考えを伺います。 |
| | | | | 赤坂 産業建設部長 | 3 公園整備について |
| | | | | | ① 市内にある公園の樹木が長い年月をかけて成長し、多くの樹木が大木化・老木化しています。これらの樹木の撤去・植え替えの計画についてお答えください。 |
| | | | | | ② 東京都荒川区の荒川自然公園を参考に、新川文化ホール敷地内に実際の道路をモデルにした交通園や健康器具を設置することについて、県へ提案・要望することについて見解を伺います。 |
| | | | | | ③ 市役所前公園などの市内公園にも交通園や健康器具を設置する考えはないか伺います。 |
| | | | | | ④ 公園整備については「公園チェックシート101」を活用することが重要だと考えますが、今後の展開について伺います。 |
| | | | | 武田 民生部長 | 4 介護保険デイサービスについて |
| | | | | | ① 魚津市のデイサービスでは、体操などの活動が行われていると思います。体操以外にどのような活動をされていますか。 |
| | | | | | ② 視察をしてきたデイサービスでは様々な活動を行っていました。魚津市内のデイサービスで新たな活動などは検討されていますか。また新たな活動を実施するときは施設に対して補助金を交付する考えはありますか。 |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7、3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | |
|------------------|---------|----|---------------------------------|----------------------------------|--|
| 3 月 8 日 | 個別 7 | 14 | 越川 隆文 (個別) 【一問一答】 | 館 税務課長 | 1 確定申告について |
| | | | | | ① 地方自治体の運営原資となる住民税の課税根拠について伺います。 |
| | | | | | ② 住民税と所得税の関係について、住民税の課税根拠は所得税とは独立してその債権が確立するか伺います。 |
| | | | | | ③ 地方消費税は国税である消費税と合わせて徴収される都道府県の県税であります。これは魚津市にも還流されますか。 |
| | | | | | ④ 所得が4000万円あった場合の魚津市に入る住民税の金額について伺います。 |
| | | | | | ⑤ 故意に住民税を申告しなかった場合どうなりますか。 |
| | | | | 広田 総務部長 | 2 ガソリンギフト券配布事業について |
| | | | | | 事業費の約半分が国からの交付金(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)であります。一方で、魚津市の一般財源からも52, ① 749千円が充当されます。総額103, 500千円となり、地域で工夫した使い方ができる物価高騰対策費用だと考えます。支援対象がガソリンギフト券に選定された過程についてお答えください。 |
| | | | | | ② ミラベいの活用は検討されましたか。 |
| | | | | | ③ 販売店が限られているのはなぜですか。 |
| | | | | | ④ 車を持たない高齢者はどのように使われるでしょうか。灯油やガスなどでは使い勝手が悪いという声を市民から頂いています。対応策はありますか。 |
| | | | | ⑤ 家族の多い世帯では不公平感があるようですがどうお考えですか。 | |
| | | | | 市長 村椿晃 君 | 3 防災体制について |
| | | | | | ① 能登半島地震当日からの市長の活動について伺う。 |
| | | | | | ② 現実の災害を通して多くの気づきがあったと思います。防災体制の見直しはすでに行政側で行われているとは思いますが、市民の意見集約の場としても市内の団体および市民を集めて防災広聴会を開催することはできないでしょうか。 |

魚津市議会 令和6年3月定例会

2024/3/7, 3/8

| 日 | 順番 | 番号 | 質問者 | 答 弁 者 | | |
|---|-----------------------|---|-----------------------------|--|--|----------------|
| 3 月 8 日 | 個別 8 | 16 | 飛世 悦雄 (個別) 【一問一答】 | 市長 村椿晃 君 | 1 | 市の課題について |
| | | | | | (1)財政調整基金について | |
| | | | | | ① 市長は、富山労災病院に産婦人科構想を掲げられていましたが、財源不足で自ら断念を決断したと言われました。市民に対しても、財源がないと発言されていました。その後、基金に頼らない持続可能な行財政運営の確立と財源不足額が解消されました。財政調整基金を令和6年度まで10億円の確保を2年間前倒しで実現出来たと強調されていましたが、どういう理由があって達成できたのか問う。 | |
| | | | | | ② 市民は、回復した実感がないと思っておられますがどのように捉えているのか見解を問う。 | |
| | | | | | (2)国の補助事業について | |
| | | | | | ① 数年、国の補助事業が多くを占めていますが、見解を問う。 | |
| | | | | | (3)令和6年度予算(案)について | |
| | | | | ① 過去2場目に多い予算(案)となった最大の要因を問う。 | | |
| | | | | ② 新規事業が44事業となっていますが、市民に、夢と希望を与えるような施策や事業になっているのか、疑問も感じますが、見解を問う。 | | |
| | | | | 小林 地域協働課長 (市長 村椿晃 君) | 2 | コミュニティセンターについて |
| | | | | | ① 以前、地域振興会が設立されてから、1地区30万円の予算で地域特性事業が実施されました。その時に、予算が足りない地区や、使い切れない地区もあり、平成27年度で終了し、平成28年度から、市まちづくり交付金制度となりました。この事業の検証をどのようにされたのか問う。 | |
| | | | | | ② 現在、地域は、人口減少、高齢化等で地域運営が困難で、地域の存続が危ぶまれている地域もあります。各地区が抱えている問題点、課題、目標を市は、どのように把握されていますか。そのことを踏まえて、この事業を、始めなければならないと思います。見解を求めます。 | |
| ③ 市と地域が本気になって話し合いを行い、ともに共有するまで、徹底的に協議することが大切かと思えます。地域で出来ないことを市が支援するのではなく、自治基本条例に基づいたビジョンを示して、地区で積極的に活動してほしいと願うが見解を問う。 | | | | | | |
| 田中 防災危機管理室長 | 3 | 防災について | | | | |
| | | ① 能登半島地震の教訓から、多くの課題があったと思われませんが、今後の市の取り組みを問う。 | | | | |
| | | ② 水道管の耐震化の現状を問う。 | | | | |
| 西川 上下水道局次長 | ③ 今後の耐震化計画について対応策を問う。 | | | | | |
| 武田 民生部長 | 4 | 介護保険について | | | | |
| | | ① 訪問介護サービス事業所が受け取る基本料金が引き下げられることとなった。これで地域包括ケアの充実を図ることが可能なのか問う。 | | | | |
| | | ② 訪問介護の人手不足が深刻な状況であり、転職が増えないか危惧されるが実態を問う。 | | | | |
| | | ③ 介護認定数を問う。 | | | | |
| ④ 市の介護保険料が、減額されますが要因を問う。 | | | | | | |